

西大平藩の札

安藤 榮

三河、西大平藩といわれても、聞きなれない藩なのでどこだろうと思われる方が多いのではないのでしょうか。この藩は、徳川將軍吉宗の時代に活躍したとされる、かの有名な大岡越前守忠相の三河壱万石の御領地であり、現在の愛知県岡崎市内にあたります。

以下に紹介する札は当初、「岡崎の旧家からの発見であるから岡崎藩の関連のもの」とされてきました。そのためこれらの札を「岡崎藩の札」として調べてみたものの、氏名がはっきり記載されているにもかかわらず、さっぱり行き届きません。そこで更に幾度か調べ、考えるうちに、札裏面の大岡の名に気づきました。そして調べを進め、この「大岡」というのが現在の岡崎市中にあたる西大平藩の大岡家であることがわかったのです。

皆さまご存じのように、西大平藩は藩札の発行をしていないといわれております。ですから、下掲の札①～⑤は、皆さまの考えておられるような、領内通用の目的で作られたいわゆる「藩札」ではありませんが、「藩の札」ではあります。言い換えれば、一般的な「藩札」ではないがそれらに混じり紹介されているような札、ということになります。

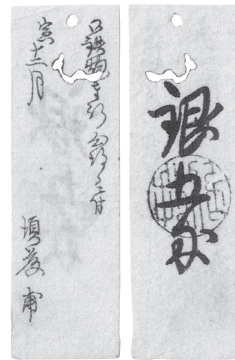
※大岡忠相は旗本から後に大名となった。

札①

表「銀五匁 (印)」
裏「御鉄炮奉行心得分二付」

寅十二月

須藤 甫



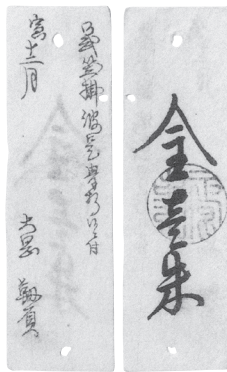
札①

札②

表「金壹朱 (印)」
裏「御武笠掛彼是曹打候二付」

寅十二月

大岡 鞆負



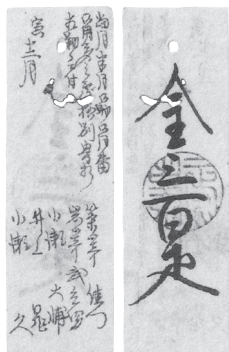
札②

札③

表「金貳朱 (印)」
裏「御月番御用多之處出役助相勤分二付」

寅十二月

小松 龍児



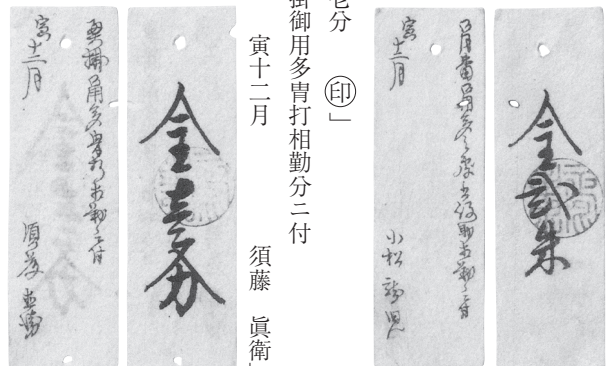
札③

札④

表「金壹分 (印)」
裏「奥掛御用多曹打相勤分二付」

寅十二月

須藤 眞衛



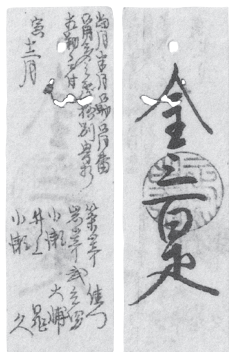
札④

札⑤

表「金二百匁 (印)」
裏「当月半月御助御月番御用多之處格別曹打相勤分二付」

寅十二月

篠崎 佳門
岩崎 武兵衛
小瀬 大輔
井上 鼎
小瀬 久



札⑤

※ 札①～⑤の画像は原寸の60%大、⑥～⑧は原寸の30%大です。